

議事録

項目	水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会 合同部会 (第13回 環境部会、アクティビティ・マネジメント部会)	
協議日時	令和4年(2022年)1月6日(木) 10:00~11:30	
協議場所	熊本市動植物園 緑の相談所 2階会議室	
協議者 (敬称略)	<p>【環境部会】 熊本大学大学院 先端科学研究部 環境保全分野 准教授 皆川 朋子 (部会長) 熊本県立図書館 学芸調査課 課長 丸山 伸治 (一社)熊本市造園建設業協会 水前寺江津湖公園サービスセンター副所長 尾崎 友信 熊本県文化懇話会 環境文化部門 会員 鎌田 剛 熊本記念植物採集会 副会長 奥村 智治 熊本野生生物研究会 事務局企画担当 歌岡 宏信 自然観察指導員熊本県連絡会 事務局長 田畑 清霧 (欠席) 日本野鳥の会熊本県支部 事務局長 原口 研治 水と緑ワーキンググループ 代表 大住 和子</p> <p>【アクティビティ・マネジメント部会】 熊本大学大学院 くまもと水循環・減災研究教育センター准教授 星野 裕司 (部会長) 公益財団法人 熊本市美術文化振興財団 理事 葉山 耕司 (欠席) 公益財団法人 地方経済総合研究所 主任研究員 吉住 和彦 (欠席) キリンビール(株)九州統括本部 南部九州支社 熊本支店 業務部 担当部長 宮脇 雅人 (欠席) 株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング シニアマネージャー 若松 隆一 (欠席) 協業組合江津湖観光 マネージャー 江藤 啓貴 江津湖貸舟協同組合 代表理事 村上 登代美 一般社団法人 熊本市造園建設業協会 理事 松本 秀和 一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団 熊本市総合体育館・青年会館 館長 桑村 広子 水前寺活性化プロジェクトチーム 事務局 楠本 英雄</p> <p>幹事 関係課、事務局</p>	
<p><議題></p> <p>(1) 水前寺江津湖公園利活用・保全計画について</p> <p>(2) 第38回全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花博」について</p> <p>(3) 計画策定後の取組について</p> <p>1) 江津湖の湧水調査</p> <p>2) 環境DNA分析(魚類)調査</p> <p>3) 水前寺江津湖公園の施設改修</p> <p>4) 動植物園のリニューアル</p> <p>5) ソウさんプールの再生</p> <p>6) 民間活力の導入 ※本協議会運営要綱第8条第1項の規定に基づき非公開</p> <p>【議事録】</p> <p>●皆さん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。合同部会が約2年ぶりということで久しぶりですけど、今日は復習をしながら、春からの緑化フェアの取組等、</p>		

色々議論できたらと思います。議題もたくさんあるみたいなので早速始めていきたいと思っています。今日は大きい会場で寒いかもしれませんが、熱い議論ができたかと考えています。よろしくお祈いします。それでは、議事に入る前に傍聴の方の確認をさせていただきます。事務局いかがでしょうか（星野部会長）

●はい、傍聴の方は4名でございます。（事務局）

●それでは、手元の傍聴される方への注意事項に記載があるとおり、会議中は静粛にさせていただきますようよろしくお祈いします。また、「6）民間活力の導入」については非公開の申し出があります。皆さま、このことについてご意見ありますでしょうか。（星野部会長）

●意見なし。（出席委員）

●では、協議会運営要綱第8条第1項に基づき、出席者の2/3以上の同意を得られましたので非公開と致します。それでは議事に入ります。議題（1）（2）の説明をまとめて事務局お祈いします。（星野部会長）

～議題（1）（2）の説明～（事務局）

●はい、ありがとうございます。それでは議題（1）と（2）、どちらでも構いませんが何かご意見等ありましたら、お祈いします。いかがでしょうか。（星野部会長）

●熊本野生生物研究会の歌岡です。緑化フェアについて自然観察会などできるだけ色々なことを考えております。本日欠席ですが自然観察指導員熊本県連絡会の田畑さんも同様です。実は、野生の動植物を扱う場合、日程というか時間的に夕方の5時あたり、例えばホテルの観察会だったり、私たちはコウモリの観察会などを考えておりますが、資料1の3枚目の「イベントガイドライン」に基づくと、開催の時間設定において、夕方の5時に観察会が終わってしまうと、例えばホテルやコウモリなど昼間だったら寝ているので、有効な観察会ができないので、色んな生きものの特性に合わせた時間設定など柔軟に取り扱いを考えていただけないか、ホテルなど観察会を考えている私たちからのお願いです。（歌岡委員）

●はい、ありがとうございます。まずは緑化フェアの時間というか、自然観察会についてです。（星野部会長）

●はい、ご意見ありがとうございます。緑化フェアのご参画、ご協力ともありがとうございます。緑化フェアにつきましては、各エリアで開場の設定時間はありますけれども、ご意見にありましたように、夜しか見られないようなホテルであったりコウモリなど、そういったものにつきまして、これから自然観察会の中身も検討していきますので、例えば対象によって昼間がいいものであったり、夜がいいものであったりと、個別に調整をさせていただければと思います。また、お話もございました「イベントガイドライン」につきましては、今回の緑化フェアでも色々各種イベント等も予定しております。それらの中身、また、それらの

反省点もあるかと思しますので、利用者のご意見、また実際イベントをされる方のご意見等をいただきながら、来年度以降に策定していきたいと思えます。(事務局)

●はい。ありがとうございます。緑化フェアに関しては、街なかエリアの竹あかりのイベントも夜にしかできないと思うのでイベント毎に時間設定はできると思えますね。ちなみに、緑化フェアの開催期間はいつからいつまでですか。(星野部会長)

●令和4年3月19日から令和4年5月22日までの65日間です。(事務局)

●ホテルは見られますか。(星野部会長)

●ホテルが見られる時期も含んでいます。(事務局)

●あと「イベントガイドライン」についてですが、大事なことだと思うので、緑化フェアが終わったらなんとなく会議の方もふわっと終わってしまったりするので、ぜひ緑化フェアの反省も活かしながらイベントガイドラインをしっかり作っていただけたらと思えます。他にご意見ありますでしょうか。(星野部会長)

●大住です。こういうイベントって終わってしまうと本当に終わってしまう感じになるので、植物って根こそぎ取られてすっぱり刈られて、いつも子どもたちは経験するわけですね。植物から私たちが得ることは、本当は一生を短い間で見ることができるとも大きなことだと思うんです。植物の大会って本当は素敵なはずなのに、いつも根こそぎ取る、取られたものはどこかに捨てられてしまうんだという印象を子どもたちに持たせてしまっているの、ゆっくり育てられる場所をどこかひとつ、そしてそれは種を取ることができるといいない場所があるといいな、といつも思うんですね。こういう大きな大会の時に終わったらそこで終わりということではなくて、次の段階のことまで考えたやり方をしていただけるといいなというのと、時間もないのでなかなかできないと思うんですけど、江津湖で言えば「この水はどこからくるんでしょう」というクイズがあったりですね、なんかそんなのがちらっとあって、クイズをしながらわかるというようなことがあると、もっと良くなると思うんですね。我々にしても植物にしても、植物は不思議な力を持っているんだよというのがわかるようなものがあるといいなと思えます。もう時間が無いからできるだけのことですけど、少しでも考えていただけるといいなと思えます。(大住委員)

●はい、ご意見ありがとうございます。今回の緑化フェアはあくまで一過性のものでなく緑化フェアを契機にくまもとの水、また緑も豊かですので、基本理念に掲げています「水と森の都の再発見」のとおり、改めて自然の豊かさ、そういったものを体感、実感していただきたいと思っています。また、緑の大切さも感じていただきながら、緑化フェアだけで終わるのではなく、その後に続けていくということで、すでに「NEO GREEN PROJECT」というものも進めておりますので、引き続き、緑化フェアを契機に、人の育成、心の育成にもつなげていきたいと思っております。(事務局)

- 僕からも関連して、こういう計画のときに課題としてその後どうするのか、その花を捨てちゃうだとかそれで終わりではなく、その後の再利用など、こういう少なくとも公共的なイベントの時などは、環境面と合わせてオープンにすることが大事だと思いますね。(星野部会長)
- 熊本記念植物採集会の奥村です。2点お願いがあります。まず我々の関係する自然観察会のプランを考えているところですが、どのような人たちが参加するのか、どのようなプランかなど全体を把握したいので、その辺の説明をお願いしたい。もう一点が、色んな取組がされているかと思いますが、以前から要望を出しておりました、例えば江津湖の生きものや文化の魅力を学習するの「水辺のインフォメーションセンター」についても説明をいただけないでしょうか。よろしくお願いします。(奥村委員)
- はい、ご意見ありがとうございます。まず一点目の自然観察会につきまして、緑化フェアの計画の中で自然観察会を掲げております。これらについては、色んな団体と個別に調整させていただいている段階ですので、例えば募集内容や規模など詳細な内容については、個別に調整させていただければと思います。2点目の「水辺のインフォメーションセンター」につきましては、(3) 計画策定後の取組についての「4) 動植物園のリニューアル」でご説明いたしますので、説明した後にご意見をいただけたらと思います。(事務局)
- 県立図書館の丸山と申します。都市緑化フェアのご説明をいただきましたので、こういう意見を言っていないかわかりませんが、2点申し上げたいことがあります。一つ目が、都市緑化フェアというのは緑化という大きなフェアだと思いますが、熊本の緑化でいうと「河喜多義男」という明治から大正にかけていた方がいて、くまもとは森の都と言われますけど、公共の場所、例えばお城や学校など、徹底してクスノキを植えた人物がいて、熊本の今の景観ができあがっています。そういうことを研修される機会があってもいいのかなと思います。もう一点が、都市の緑化では庭園をつくったり、花壇をつくったりと素晴らしい催しがあると思うんですが、熊本では伝統的に江戸時代から肥後六花を栽培する技術が伝統文化として根ざしております。熊本の10代藩主の細川斉護は花の栽培を武士に奨励して、武士は「花連」というグループを作って、それぞれのサザンカであったりアサガオであったり、栽培をして種や手法などを作っていたという伝統が、私は文化財として、奨励しうるものではないかと思うんですけど、せっかく江戸時代から続くような伝統文化があって、古文書があって、それぞれの栽培記録があって、そういうのを緑化フェアの中で活かすというのがあってもいいのではないかと思います。
- ご意見ありがとうございます。一点目の熊本の緑化に関わっておられた「河喜多義男」さんなど緑に関わる人でありましたり、肥後六花、動植物園や熊本城など今回のメイン会場の中にもございますが、緑化フェアでも色んなところで発信できたらと考えています。今後、緑化フェアの具体的内容について検討する中で、各種団体とヒアリングをさせていただきながら、また、緑化フェアだけでなく、その後も続けていきたいと思っていますので、仮に緑化フェアでできなくとも、その後そういった緑の取組や大切さをみなさんに発信できるように努めて参りたいと思います。(事務局)

●熊本大学の皆川です。ご説明ありがとうございました。緑化フェアということで、今お話があったんですが、イベント的ににぎわいを持たせて、また緑と水の環境について非常にいいと思うんですが、今SDGsとかそういった言葉が一元化しているので、これから持続的にどういふふうに展開させていくのかというところが少し視えるようなことがあると価値が高まると思うので、赤から青への水のイメージを持たせる話も先ほどあったとおり、変えるという話も花の行方について心配なところもありますし、ぜひ持続的な熊本の自然を継承できるような建て付け、歴史もそうなんですけども、こういったことをもう少し入れ込んだ方がいいのではないかとあります。急速に時代が変わってきているので、緑化フェアということに留まらず進めていただければと思います。また、コロナに対して、これから急速に拡大しつつある状況だと思うんですけど、3月が一番多い時期になるのではないかと予想されていると思うんですけど、その辺どの程度ご対応されるのか説明をお願いしたいと思います。(皆川 部会長)

●はい、ご意見ありがとうございます。前半いただきましたSDGsにつきましても、この利活用保全計画でありましたり緑化フェアにつきましても、17のゴールの色んなものに関連付けて取組を進めております。また、大花壇は赤から青に変わりますけど、まず前半は「火の国くまもと」の赤をイメージして、ただ、緑化フェア期間中に「アジア太平洋水サミット」も開催を致しますので、それに合わせて熊本の水の豊かさを知っていただくように青に変えるというようなコンセプトで大花壇をしております。ここで使用する花の行方についても、今後どう活かしていくのか考えていきたいと思います。また、コロナにつきましては確かに最近ですと「オミクロン株」など感染の拡大が心配されております。もちろんコロナ対策を万全に施しながら、屋外の会場がメインですが、屋外といえども対策を万全に施しながら、なるべく緑化フェアもフルバージョン、完全な形でできるように我々今検討していますので感染状況をみながら、十分対策できるよう進めて参ります。(事務局)

●他にご意見ありますでしょうか。(星野部会長)

●今緑化フェアの取組について、ご説明があったと思います、また皆川会長からSDGsのお話がありましたが、これから取り組んでいくなかで、イレギュラーな形にならないかとありましたが、先ほど奥村さんから「水辺のインフォメーションセンター」の話もありましたけど、私たちの団体の中でも、例えば子どもたちに水質のことであったり、水の状態のことであったり、それらを確認できるような機器の準備をして分析をやっていったり、あるいは子どもたちに伝えていける場が欲しいということを考えている仲間もいます。できれば子どもたちがここに集まってきて、一緒に水を調べることができるような社会的な環境学習の場としても活用できるようなインフォメーションセンターに対応していただけると、次の世代に伝えていけるような発信になると思います。これから、まだ具体化する中で、ぜひそうした子どもや団体が外で活動を進められるようなそういう設備をお願いしたいということで私からの意見です。(歌岡委員)

●はい、ご意見ありがとうございます。後ほど詳細はお話ししますが、この水辺のインフォメーションセンターにつきましては、江津湖の情報を集積し、色んな方へ発信していく場とし

て、無料ゾーンとして設けております。ここにはもちろん、江津湖の自然環境であったり、歴史文化、そういったものを PR できるようなものを計画しておりますし、環境学習を行う際に集合したりなど、そういった集まれる場というものもつくるよう計画しております。もちろん次世代への継承、担い手の育成というのは水前寺江津湖公園全体の大きなテーマでありますので、そういったきっかけになるような施設になるように今整備を進めてまいりますので、後程詳細を説明した後にまたご意見等ありましたらいただけたらと思います。(事務局)

- はい、よろしいでしょうか。そろそろ時間もありますので、緑化フェアに関しては色々ご意見もあるみたいですが、すごく大事なイベントですので、色々皆さんのご協力、私も含めてですね、皆さんの協力の中でいいイベントになればと僕個人も思っています。では、時間もありますので次の議題に移ります。議題(3)の、この2年間の取組について、1)~5)まで事務局から説明をお願いします。(星野部会長)

~議題(3) 1)~5)の説明~(事務局)

- はい、ありがとうございます。どの項目でも構いませんのでご意見ありましたら、お願いします。(星野部会長)

- 水前寺江津湖公園の尾崎といいます。よろしくお願いします。資料3の湧水調査についての説明ですが、これについては、自分たちが公園管理をしまして、色々湧水量について質問があつていまして、この資料で公式的に湧水量については取り扱っていいですか。ゾウさんプールの資料では1日57万トンと書いてあって、湧水調査の方では1日40万トンと書いてあるものもありますし、これについては上江津地区で16万トンですかね、ちょっとわかりませんが、下江津湖の方は湧水量が書いていないみたいなので、また別で調査されるのかちょっと疑問です。(尾崎委員)

- 水保全課です。今ご質問がありました件ですけれども、今回初めて江津湖の東側からの湧水管所や流入口を個別に測っていますので、あくまで参考値としてみていただいた方が良いと思います。公式としては、毎年、以前県が測っていた時代とか、市川教授が測られていた時代のものを継承しており、現在はくまもと地下水財団が江津湖の全体の湧水量を観測しておりますが、それが近年では大体40万トンを超えているような形で推移しており、昨年度が57万トンと急に増えたような、雨が多かったせいなのかもしれませんが、それで数字が40万トンや57万トンなど色々数字がでてきているような状態です。昨年度の実績としては57万トンと表記をさせていただいているのですが、全体としてどのくらいというのはまだちょっとどういう表記をすべきか考えております。あとは、ゾウさんプールの湧水量としては、個別に測っているのはあくまで今回測っただけのもので、ほぼ同時に様子を見ながら継続していくべきかどうかは検討しなければと思っております。下江津湖の方も地下水財団の方で確認していますが、昨年度の57万トンがありますので、今回測ったのと去年で違うかもしれませんが、上江津の上流、下流で16万トンがありますので、それ以外の30数万トンが下江津湖から湧いてくる水ということになります。(水保全課)

●ご説明いただき、ありがとうございました。湧水量につきましては、他がどのくらい流出しているか大変貴重な資料になるかと思しますので、引き続きデータブックをいただけたらなと思います。また、湧水量調査では多分水位観測だけしておくので、今は色んな割と安めの水位計とかがあるので、人件費もかからなくて継続的なデータが取れるんじゃないかと思えます。DNA に関しましては、私が DNA の分析を江津湖でやったことがあるのですが、実はもう少し上流域の河川であったり、そういったところから外来種の結果が出てきていますし、江津湖だけでなく周りの用水路にもたくさんの外来種がいることは皆さん確認されていると思います。今後、駆除というのが最大の対策になってくると思いますが、周りの用水路とかそういったところから対策していかないと、根本的な駆除にはつながらないなと思います。私も同じ目的で DNA の分析をしたんですけど、周辺も合わせてやっていかないとなかなか対策難しいなということを実感していますので、ぜひ今後、周辺も調査地区に加えていただくといいかなと思いました。あと、ソウさんプールについて質問させていただきたいと思いますが、私は日程が合わなくて参加することができませんでしたが、大抵プール、小学校とかもそうなんですけど、プールの清掃を行う際に、有機物の中にトンボのヤゴとか水棲昆虫類がいて、多分今回の調査でも清掃したときにヤゴとかがいたんじゃないかと思うんです。そういった場合は、これからお子さんも参加されるということなんで、大体そういう時にはヤゴを取り出して水槽の中に入れておいて江津湖の方に移してあげるなど、環境の情操教育としてより良いものになると思います。清掃として参加させるというより、そういった PR とかにもつながると思いますので、前回どうされたかはわかりませんが、ちょっとそういった感想をもちました。(皆川部会長)

●はい、ご意見ありがとうございます。ソウさんプールの清掃につきましては、行うにあたりまして、本協議会の会長であります市川先生にもご同席いただきましたし、博物館の学芸員のご意見等も聞きながら、進めてきたところでございます。今回の清掃でいうと、実は溜まっているものはそれほど固まっているものは無く、一部の固まったものは撤去していますが、それ以外は浮かせて江津湖の本川へ流したもので、外に出したということではございません。今回は大人だけでしたけども、今後は子どもたちと一緒に行うにあたっては、そういったものも含めて、まずはどういったものが生息して、どういったものが大事で、この江津湖の自然環境の豊かさにも気づいていただけるような、そういった環境学習にもつなげていきたいと思えます。もちろん貴重な生きものについても把握をしながら進めていきたいと思っています。(事務局)

●はい、湧水及び環境 DNA 調査の話でした。いいですね、こういう調査は継続することに価値があるので継続の方法は考えていただいでですね。他いかがでしょうか。(星野部会長)

●資料5のサインデザインの統一化という話があったと思いますが、例えばここにサインの多言語化とかということが書かれていますけど、学習サインなど、ここには以前から色々アドバイスを皆様からのご意見をあつたりとかかもしませんが、QR コードとか情報発信の仕掛けみたいなものは、こういったサインの中に入っているのか、それともインフォメーションセンターと連携だとか、そういったことは新しくなったのでしょうか。(皆川部会長)

●江津湖公園のサインにつきましては、現状色んな時期に色んな人が建てたサインが乱立をしていたという状況でしたので、まずは江津湖公園全域を統一したいというふうにサイン改修を行っております。また、ほぼ同時期に熊本駅でありましたり桜町花畑一帯、それ以外の観光拠点につきましても、熊本市の方で現在公共サインを改修しておるところでございます。昨年度、市の中では公共サインのガイドラインというものを策定しまして、その中で誰が見ても分かりやすいよう、統一したフォーマットでサインを整備しているところでございます。お話にありました新たな情報であったりとかとございませけれども、まず今回の江津湖公園のサインにつきましては、江津湖のサインを設けることで奥の景色を遮るのではなく、奥も視せるようにガラスで統一をしております。中身につきましては、日本語と英語という2ヶ国語表記でしております。以前この部会であったり、協議会でもご議論いただきましたQRコードであったり、色んな江津湖の情報発信につきましては、実は今年度まだ江津湖のサイン工事を行っている最中でございますので、次年度以降に江津湖のアプリを作りたいと考えております。施策事業にもありますけれども、色んな魅力を発信するだとか江津湖を散策して楽しめるようなそういったものを作っていきたいと考えています。例えば、スタンプラリーができるようなものも考えておりますので、その中で水辺のインフォメーションセンターと連携するなど、色んな情報発信に努めたいと考えております。(事務局)

●はい、みなさんいかがでしょうか。話題にありました水辺のインフォメーションセンターとかがどうですかね。じゃあ、僕からの質問なんですけど、ポイント③のみんなが自由に使えるのが大事だと思いますが、その時に地味な話なんですけど、ちょっと器具を置いておけるとか、利用者が使える倉庫、物置きがあるかないかで全然違うと思うんですがそういうのがありますでしょうか？(星野部会長)

●資料⑥の左側の中ほどに大きなパースがございます。黒いカーブした壁がありますけれども、これが水槽なのですが、その後ろに白い部分があるかと思えます。こちらには、以前これを計画するにあたって色んな団体さんにヒアリングをさせていただいた中で、江津湖で活動する際に入って汚れたりするといったご意見等もいただきましたので、手洗いとかができるような場を設けております。また、右上に長テーブルが二つとイスが並んでいるかと思えますが、こちらは集まって学習ができるスペースというところで計画しています。ここには多少物も置けますし、またモニター等も準備しておりますので、その中で色んな活動を幅広くできるようなスペースとして設けております。今後、こちら運用しながら、使っていく中で色々ご意見もでてくるかと思えますけれども、それらのご意見を踏まえながら、できる限りの運用をしていきたいと思っています。(事務局)

●ありがとうございます。いかがでしょうか。(星野部会長)

●星野先生からお話ありました、今自分だけが使用している水質を分析する機械あたりを、できれば水辺のインフォメーションセンターの方に置かせていただいて、例えば月に何回か子どもたちと一緒に見にいったりという使い方ができればと思います。度々、自動車でそれを運んでいくとなると、とても大変ですし、置いておくと紛失するのも困るし、そこで鍵のかかるロッカー、そういう倉庫がひとつあるだけでとすごくありがたいんですけど。勝手なお

願いかもしれませんが、本当にご検討いただくとありがたいです。以上です。(歌岡委員)

- ご意見ありがとうございます。確かに活動するにあたり一回一回持ってくるのが大変な機械等もございます。一方で、フリーで開けている無料の空間でございますので、その保管、安全性とか盗難といった心配もございます。江津湖では色々な団体が活動されておられますので、そういったものについては個別にお話をさせていただければと思います。(事務局)
- せっかくの施設なので皆さんが有効に使ってくればいいなと思いますけど、特定の方だけが占有するようなのもいけないですし、個別に話をするのではなく、使ってくれそうな方を集めて、みんなで議論するような場の方がいいかなと思います。まずは特定の方々はおられるでしょうから、場を設けてもらうのが一番いいかなと思います。他いかがでしょうか。水辺のインフォメーションセンターの完成はいつですか。(星野部会長)
- 緑化フェアの開幕時です。(事務局)
- 皆さんすごい期待していますんで。(星野部会長)
- 水辺のインフォメーションセンターに限らず、植物園全体を緑化フェアの開会時にオープンすることとしています。(事務局)
- 水辺のインフォメーションセンターについてなんですけれども、無料施設と書いているのですが、動植物園の中っていうことで、常時張り付く方ってというのが、例えば質問とか案内する方とか、というのはどの程度いらっしゃる予定なんでしょうか。(皆川部会長)
- 今のところこちらにつきましては、動植物園の方が直営で運営をしていくというふうを考えております。何人というのは決まっておられません。(事務局)
- 詳しい方が適切に説明してもらえると助かります。お子さんとか色んな方が来られると思うので。(皆川部会長)
- 色々なシーンに適切に対応できるよう、色んな方に楽しんでもらえる使いやすい空間にしてみたいです。(事務局)
- ありがとうございます。(皆川部会長)
- はい、よろしいでしょうか。では他にまたありましたらまたあとでお願いしたいと思いますので、次の議題に移らせていただきたいと思います。
次が「民間活力の導入」についてですけれども、最初にお話ししましたとおり、非公開にさせていただきます。傍聴されている方、報道関係の方は、退席の方をお願いします。
それではご説明をお願いします。(星野部会長)

～議題3)6) 民間活力の導入(⑥-2-1)の説明【非公開】～

- では、今日の議論を終わりにしたいと思いますが、ここで一点、僕から次にいつ開催するの
かだけお尋ねしたいと思います。コロナもあってすごい間が空いていると思います。次いつ
開催する予定かだけお願いします。(星野部会長)
- 次回につきましては、確かに先生もおっしゃられました通りコロナの状況もございますし、
緑化フェアというものも開催いたします。そこでの色々な反省点だったり、良かった点等も
でるかと思しますので、今の事務局の考えとしましては、緑化フェアが終わった後に、まず
はまた合同部会を踏まえて、協議会を開催をさせていただければというふうに思っておりま
す。(事務局)
- 個人としては、5月は難しいかもしれませんが、中間報告的ぐらいにあった方がいいのでは
ないかと気はしています。あくまで部会長の一意見ですけど。(星野部会長)
- ご意見ありがとうございます。先ほどご説明しました環境調査であったりとか、今年度中に
データ等出るものもございますので、仮に協議会、部会を開催しなくても委員の皆様方には
個別に状況報告等はさせていただければと思います。会議の開催時期につきましては検討さ
せてください。よろしくお願いします。(事務局)
- はい、以上で今日の議論は終わりにしたいと思います。(星野部会長)

以上